

知的資産経営報告書

2011



Steel metal
Press & Assembly

株式会社 

目 次

社長から皆様へ.....	2
経営理念.....	4
事業概要.....	6
山形工場と取扱製品.....	8
当社の強み（SWOT分析）.....	10
知的資産（自社の強み）.....	11
進取の気性（Enterprise）.....	11
精密板金加工とメカトロニクス技術の融合.....	11
社員の熱意とノウハウ（技術の承継）.....	12
整備された研究開発環境（自社工場）.....	12
老舗企業の信用と信頼.....	12
これからの事業展開.....	13
知的資産の戦略的マネジメント.....	15
会社概要.....	16
あとがき.....	18

■ 社長から皆様へ

『糸井さん、こんなものできない？』

私、糸井寿裕は、墨田区千歳のこの地で、昭和 34 年に糸井製作所を創業いたしました。当時、私の父、照治が役員であり、私も 1 年だけですがお世話になった、キング工業株式会社様の下請として、手提金庫の製造を開始いたしました。その後、昭和 39 年に株式会社糸井製作所を設立し、順調に生産を進めてまいりました。昭和 45 年には、現在の場所が手狭になったことから、埼玉県草加市に新工場を開設し、POS レジスター等に付帯するキャッシュドロワの生産も開始いたしました。キャッシュドロワについては、平成元年の消費税導入時、最高生産台数を記録し、当社はキャッシュドロワ製造のトップメーカーに成長いたしました。

当社は、元々手提金庫の製造を手がけていたことから、セキュリティ技術に対しては自信を持っております。また、キャッシュドロワ以外にも板金加工品については色々と手がけてまいりました。お客様から受けた、「糸井さん、こんなものはいらない？」という要望をいただくと、俄然ファイトが湧いてくる性格でしたので、ときには採算度外視でも完成品の製造までやり遂げました。当社にお声がけをいただけることこそが、自ら創意・工夫しようとするチャレンジ精神を育成し、当社の技術力の向上となって反映されてくるものだと思います。「信頼の技術力」は、開発・生産部門の「熱意」と営業部門の「誠意」が両翼となって羽ばたくことを理想とし、当社の経営理念としております。

その後は、私が疎開していたときのご縁から、平成 4 年に山形県上山市の新北浦工業団地に工場を開設することができました。「株式会社イトイ」に社名変更し、当時の最新の技術を整備し、バリアフリーの作業環境も取り入れ、若く優秀な社員を採用することができました。

しかしながら、ここ 10 年来は、アジアの国々のコスト競争力に押され気味です。私は、せっかく育ち始めた山形工場を大切に思っておりましたので、海外進出についてはあまり気乗りがしませんでした。その上に、数年前にレジつり銭機というものが登場し、軒並みスーパーマーケットに導入が進みました。当社は、このつり銭機への参入が遅れてしまい、このためキャッシュドロワの生産は 4 分の 1 ほどに縮小してしまいました。

このような環境の中で、新たな製品を生み出すヒントをいただいたのが、お近くの株式会社ダーウィン様でした。この要望を山形工場に伝え、みごとに製品化したのが株式会社ダーウィン様のOEM生産をしている ECOLIO（エコリオ）という揚げカス搾り機です。私は、自社工場ながら、ここまでの技術力があつたのかと、工場の社員に対し尊敬の念を抱くとともに、その成長に感動いたしました。海外進出をせず、自社工場を守ってほんとうによかったと思っております。また、この新製品は当社の今までの板金加工だけでなく、メカトロニクス技術（電気駆動）を搭載しております。この技術開発を担当したのが、私の息子の成夫です。彼の開発に対する熱意にも頭が下がります。

当社は、今後、精密な板金加工の技術にメカトロニクス技術を付加し、さらなる新製品を送り出したいと日々奮闘中です。「こんなものはつくれないのか？」というご要望がありましたら、ぜひ当社にご相談ください。皆様、今後ともよろしくお願い申し上げます。

株式会社イトイ

代表取締役社長 糸井 寿裕



糸井 寿裕

USB バスパワー駆動キャッシュドロワ



■ 経営理念

熱意

信頼の技術力

誠意

ものづくりとは、単純な製造作業を意味することではありません。ましてや、工場で油にまみれる前近代的な労働集約型産業を差すものでは決してありません。

ものづくりとは、お客様のニーズを真摯に受け止め、創意と工夫をこらして行う高い精神力を要する技術活動です。

私たちは、一人ひとりがものづくりの喜びを感じることができるチームを目指しています。

「ありがとう」の気持ちを大切にして、お客様、地域の皆様、そしてチームの皆に対して、常に感謝の気持ちを持って接します。

・スキルとテクニク

スキルとは応用ができるものをいいます。正しい知識に基づいて実際に行動できることがスキルです。

一方、テクニクは応用がききません。テクニクとは特定のことがそのとおりにできることです。

スキルにしてもテクニクにしても学習し、訓練して初めて身につくものですが、高度なテクニクがスキルというわけでもありません。

私たちが追求すべき技術は、持てるさまざまなテクニクを使い分けること（スキル）なのです。

常に、自信と誇りを持って、最高の技術力と細心の注意を払って製品を生産し、決して妥協することなく、新しい技術に挑戦し続けます。

イトイの経営理念 5カ条

1. あきらめないこと

自分から限界を決めて、チャレンジする前から挑戦をあきらめないこと。

2. 議論すること

疑問点や問題点があったら、些細なことでも直ぐに議論すること。
指摘せずに先送りにはいけない。

3. 即実行すること

議論して対処方法が分かったことや、良いアイデアを思いついたときは
直ぐに実行すること、常に行動する姿勢を崩さないこと。

4. 協力すること

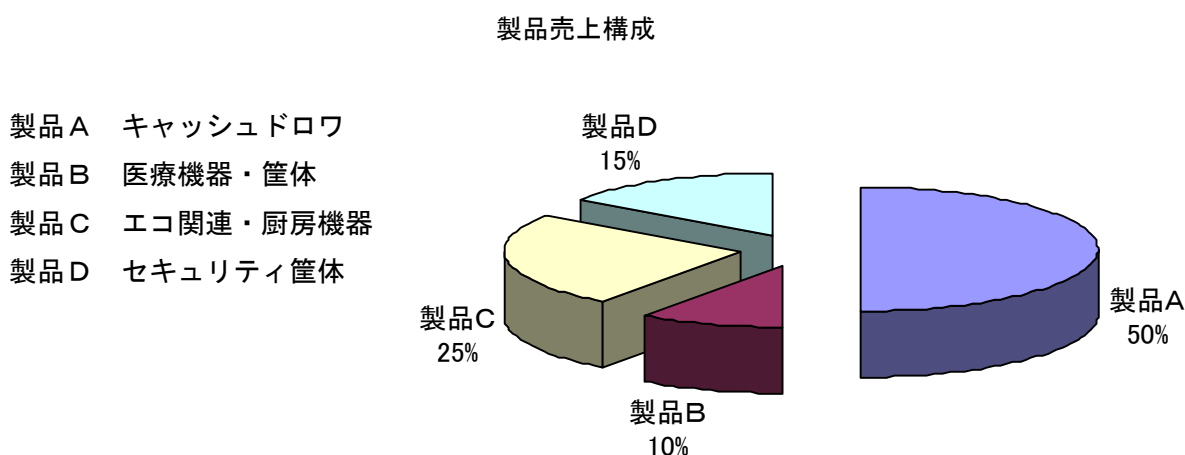
自分だけでは達成できない問題に対しては
必ず仲間に協力を求めること。
自分だけで思いつめずに、チームで苦楽を分かち合えるようにすること。
勝手に自分の仕事の範囲を決めるようなことは決してしないこと。

5. 継続してゆくこと

上記4項目を常に心がけ、継続してゆく事。

■ 事業概要

当社は、山形県上山市の工場を生産拠点とし、主に以下の種類の製品を製造しています。



精密板金加工品の生産を主要な事業としており、近年では精密板金加工での豊富なノウハウをもとに、メカトロニクス技術と融合した製品の開発から生産までを行っています。

メカトロニクスは、機械工学（メカニクス、Mechanics）と電子工学（エレクトロニクス、Electronics）を合わせた和製英語です。従来、機械製品に複雑な動作をさせるには多くの機構部品を組み合わせる必要があり、大型・高価になりやすく、複雑で組み立てにくいものになってしまいます。今日では、制御に電子回路やマイクロプロセッサ（マイコン）を用いることによって、自動化やマイコン制御などより豊富で便利な機能を実現しています。

当社は、東京本社に技術開発部を置き、メカトロニクス技術を保有・育成しており、お客様と製品企画の段階から生産まで、一貫してお手伝いできる体制を築いていることで、お客様からの厚い信頼をいただいております。

POS関連機器の製造に長くかかわったことによるノウハウの蓄積と、大手メーカー様に長期に渡り安定して製品を供給してきた信頼性、常に最新の製造機器を導入することで、お客様のニーズにお応えすることが当社の強みです。

当社の業務内容は、以下のバリューチェーンのとおり、お客様との検討段階であるヒアリング（製品企画）から生産にいたるまで一貫体制を構築しておりますので、高品質・短納期・ローコストを実現することができます。

当事業のバリューチェーン

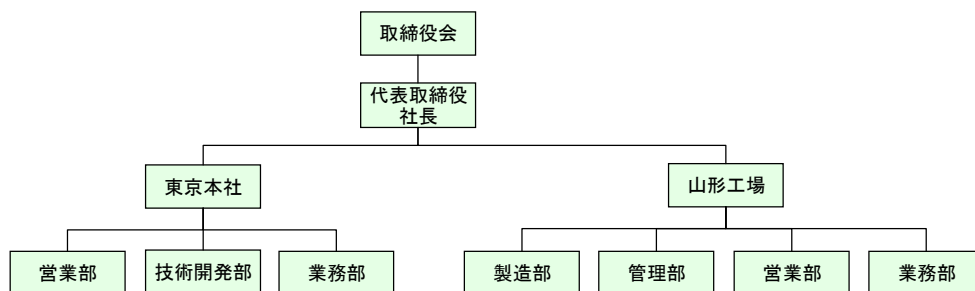


- ①ヒアリング：生産、試作を行う製品の仕様をお客様からうかがいます。
- ②設計：仕様に基づき図面、または回路図の作成を行います。
- ③試作：図面、回路図から試作品を作成します。社内にてレーザー加工、基盤製造を行うため、短納期で試作ができます。
- ④確認：試作品をもとに動作の確認をします。お客様からの意見で、さらに改良を加える際は再設計に戻ります。生産方法、購入部品などお客様の要望に応えコストダウンを計ります。
- ⑤資材調達：関連企業とのネットワークと独自の発注システムにより、製造に必要な部品を安定供給することが可能です。
- ⑥生産：最新の設備により、お客様のニーズにお応えする生産ができます。
- ⑦出荷：社内にて独立した検査部門により製品の検査を行った上で出荷を行います。チャーター便での発送、海外への発送にも対応しています。

東京本社に技術開発部を持つことによって、お客様のニーズにそった企画・設計を迅速に行います。

本社・山形工場の社内ネットワークシステムによって、試作・確認をスムーズに行うことができます。

山形工場では、検査部門（管理部）を独立部門とし、厳格な検査を行った後に出荷します。



■ 山形工場と取扱製品

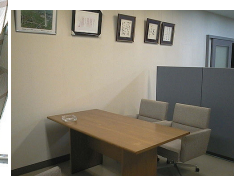


山形工場は自然豊かな蔵王連峰の麓
山形県上山市の工業団地にあります。



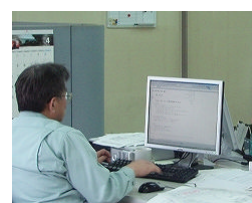
エントランス

地域交流を目指した
多目的スペースとして
も活用します。



ヒアリング

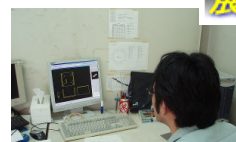
蔵王を眺望が
見える応接
で、製造する
製品の仕様を
打ち合わせし
ます。



設計



展開

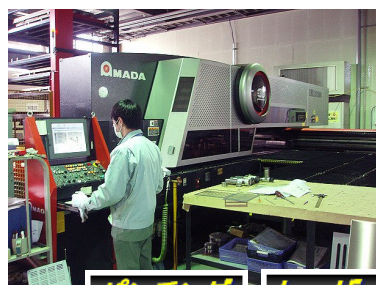


NCプログラム作成

アマダ AP100 で作成します。



プレス加工



パンチング レーザー加工

最新鋭のレーザーパンチ複合加工機
EML-Z3510NT などを使用します。



トルクバックプレス
アマダ TP200 C 他



曲げ加工



溶接

熟練工が作業を
行います。



組立



検査

独立した検査部門
により検査を行
います。



納品



製品例



おかずカップ セパレータ



USBバスパワー駆動
キャッシュドロウ



セキュリティ
ダストボックス



油搾り機 ECOLIO



生産製品のご紹介

揚げカス搾り機 ECOLIO OS-05



2009 年 8 月に株式会社ダーウィン様より量産依頼をいただいてから、ECOLIO OS-05 を当社にて生産しております。OS-05 はダーウィン様が既に販売している ECOLIO シリーズの小型版となります。ECOLIO は天ぷらやフライで発生した揚げカスを処理する機械です。

揚げカスはそのまま棄てると発火の恐れがあるため産業廃棄物となるため破棄に費用が発生します。ECOLIO を使用することで廃棄物を 75%削減し通常のゴミとして扱うことが出来ます。また、揚げカスを圧縮する過程で揚げカスから 50%の油を回収するためエコロジーに貢献できます。

さらに、東京都中小企業振興公社の平成 21 年度「基盤技術産業グループ支援事業」に「揚げカス搾り機エコリオ」が選定され、イトイではメカトロニクス部分を担当し、ECOLIO によって処理された油と揚げカスの量を計るシステムを製作致しました。

機密文書処理・廃棄 保護（まもる）くん



保護（まもる）くんは、株式会社日本パープル様の機密文書処理・廃棄サービスの名称です。従来のシュレッダーで処理した書類はゴミ量が増加するうえ、繊維が寸断されリサイクルペーパーにはリサイクルできませんでした。保護くんは、独自の輸送システム、独自の機密抹消処理工場により機密を守ったまま破碎処理してリサイクルペーパーに還元します。イトイでは 1997 年に量産依頼を頂いて以来、保護くんシリーズの筐体を量産させていただいております。機密文書処理のパイオニアであり業界トップである株式会社日本パープル様の最高のセキュリティ環境に応える堅牢な作りになっています。また、メカトロニクスも含め新機種の開発にも関わらせていただいております。

■ 当社の強み（SWOT分析）

		外部要因	
		機会 OPPORTUNITY	脅威 THREAT
		・新市場への参入機会 →機械化による省力化 →安全・衛生面に配慮するオールステンレス加工の技術 →エコロジーの高まり	・中国・東南アジア諸国とのコスト競争 ・原材料の高騰 ・コストダウン要請 ・レジつり銭機の導入拡大
内部要因	主力製品 POS 用キャッシュドロワ 新製品 USB バスパワー駆動 キャッシュドロワ ECOLIO (揚げカス搾り機) スライド (弁当用カップセパレータ)	強み STRENGTH	強みを活かす戦略
		・精密板金加工とメカトロニクス技術の融合 ・自社工場による優位な研究開発環境 ・社員の熱意と技術力 ・主力製品の信頼性 (セキュリティ技術の蓄積)	・食品業界への参入 ECOLIO (揚げカス搾り機) 
			縮小する戦略
	弱み WEAKNESS	弱みを克服する戦略	撤退する戦略
	・新製品のマーケティング (ポジショニング、価格設定、流通、プロモーションなど) が課題	・本社・山形工場一体での ISO9001,14001 取得と体質強化 ・ステークホルダーとの信頼関係強化	・単純技術・大量生産で生き残れるという意識を捨てる

当社の強みは、メカトロニクス技術を自社で創設したことにより、イノベーションに成功したことです。長年蓄積した精密板金加工製品を高度に電気駆動させることによって、ニーズのある業界にローコストで製品を提供できる体制を構築することができました。

■ 知的資産（自社の強み）

進取の気性（Enterprise）

イトイはお客様からの要望に応えることを第一に日々取り組んでいます。技術的に難しい依頼であっても創業時のチャレンジ精神から、果敢に挑みます。

また、お客様の要望に応えるために常に最新の生産設備を導入し新しい技術も貪欲に吸収しています。

もちろん成功ばかりでなく、完成まで何度も試作品を作ることもあります。お客様の要望に応え続けることが、イトイの企業としての成長を支えています。

そして、社内に蓄えられた技術とノウハウは自社製品を生み出す原動力になっています。是非、イトイにお声を掛けて下さい、必ずご期待に応えます。

精密板金加工とメカトロニクス技術の融合

当社は主力製品であるキャッシュドロワを長期に渡り、大手メーカーにOEM供給してまいりました。お客様にも信頼をいただき、製品を安定供給するために設備投資も惜しまずに取り組んでまいりました。

しかし、近年では原材料の高騰など製造業を取り巻く環境の厳しさが増していることもあり、精密板金加工の技術に加え、さらに新しい技術を導入して製品の価値を向上する必要に迫られておりました。

こうした状況のなかで、USBバスパワー駆動キャッシュドロワを製品化しました。通常のキャッシュドロワでは開く際に大きな電力を必要するのですが、メカトロニクス技術と融合させた新方式を採用することによりUSBケーブルからの電源供給だけで動作するまったく新しい製品を、電気回路、マイコンプログラムも含め社内で開発しました。

USBバスパワー駆動キャッシュドロワの製品化をきっかけとして、精密板金加工で仕事をいただいているお客様から、お納めしている製品にメカトロニクス技術を融合したいとのお問い合わせがあり、近年では携帯電話網を利用した遠隔監視システムと組み合わせた製品まで手がけております。

さらに、お客様からの要望から弁当用のカップセパレータの開発を行い製品化に成功しました。

イトイは精密板金加工とメカトロニクス技術の融合により、社会に役立つ様々な製品の開発にチャレンジしてゆきます。

社員の熱意とノウハウ（技術の承継）

イトイは創業時、小さな町工場でした。当時はコンピュータを使った工作機械もなく殆どの工程を職人による手作業で行って来ました。限られた環境だからこそ団結心が生まれ、努力を惜しまずに製品の製造を行っていました。

そして現代、図面の作成は製図台からコンピュータのCADへと置き換わり、工作機械はコンピュータの指示で動作しています。

時代は変わっても、イトイは町工場時代の職人氣質を大切だと考えています。社内には還暦を過ぎたベテランの優秀な職人が今でも働いており、若いエンジニアにアドバイスをしています。若い世代に頑固なまでの職人氣質が確実に受け継がれています。

町工場の時代を知っているからこそ出来る創意工夫がイトイの大きな財産になっています。

整備された研究開発環境（自社工場）

若く優秀な人材が、生き生きと働くことの出来る環境を目指し、イトイの山形工場を開設しました。山形県 蔵王山の麓と、自然に囲まれた場所を選んだのもそのためです。

山形県は製造業の誘致に積極的なため、周辺に関連企業も多くあり生産拠点として申し分ありません。東京の本社とは専用の光回線によるネットワークを構築しているため、情報の共有も万全です。

イトイでは山形工場を中心として、生産、研究を進めています。新商品の開発に関しては、最初のヒアリングを東京本社で行い、山形工場で図面作成後に試作品を製造して、試作品を東京で見ながら細部を詰めるスタイルで進めています。簡単な部品であれば翌日にはお届け出来るフットワークがあります。

電気回路、マイコンプログラムに関して東京本社で対応します。試作の段階ではすべて東京の本社で対応することで、きめの細かい対応が可能です。

老舗企業の信用と信頼

イトイは昭和45年4月からキャッシュドロワの製造をはじめ、40年以上の歳月に渡り生産を続けています。ドロワ構造全体について100万回以上もの開閉に耐えられることを堅牢性テストで実証しています。

POS製品を販売している国内の主要メーカー（富士通様、日立製作所様、日本電気様）においてイトイのキャッシュドロワが長期に渡り採用されていることが信頼性の証です。

昭和64年4月に消費税が導入されることが決定された際には国内の殆どのPOS端末を入れ替える必要があったため、短期間で大量のキャッシュドロワが必要な事態になりました。この時も緊急の増産体制を敷き、お客様の要望に応えることができました。製品を安定供給できる体制を築いていることもお客様との信頼の絆となっています。お客様と長期に渡り築いた信頼関係をもとにキャッシュドロワ以外でも製品の生産依頼、新規開発にかかわり、幅広いお付き合いをさせていただいております。

■ これからの事業展開

当社は、この度、1年あまりの試行錯誤の後、弁当用おかずカップセパレータ「スライド」を製品化しました。

おかずカップセパレータ「スライド」



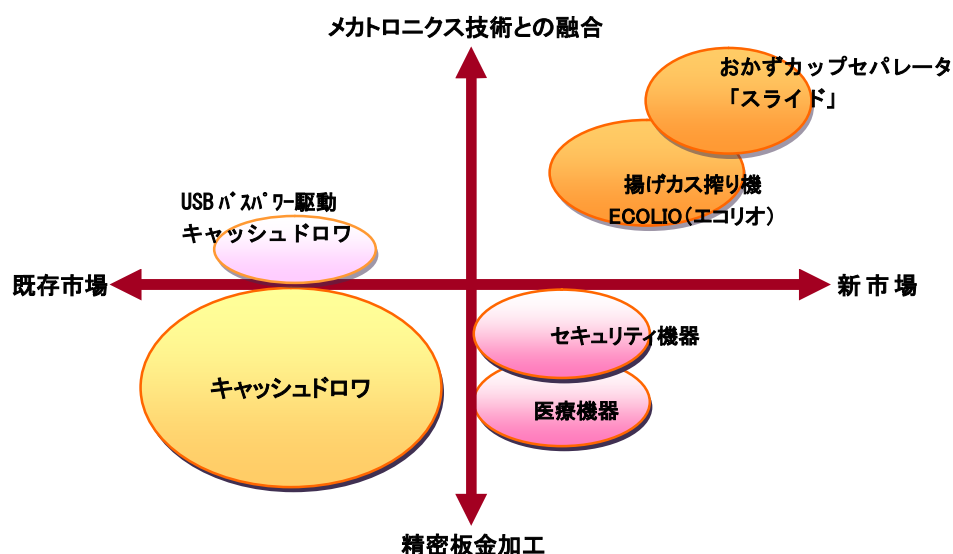
お弁当の生産ラインでは、お弁当に使用するおかずカップごとに、おかずカップを供給するための専任の作業者がいて、お弁当箱の中にカップを入れます。このカップに別の作業者がおかずを詰めます。

おかずカップは圧縮されてパッケージされているため、食材等が付着した手袋で作業をしようとする、すべって分離ができなくなります。これがお弁当生産ラインのボトルネックとなっています。

おかずカップセパレータ「スライド」は、おかずカップを自動的に一枚に分離して供給する製品で、これを利用することでボトルネックが解消する上に、おかずカップを分離する作業を省力化することができます。

また、厨房では、プラスチック材を使用した機器は、破損した場合に破片が食材等に入ってしまう危険性があります。当社の「スライド」は、分離ヘッド以外はオールステンレス製ですので、安全衛生面での問題はありません。

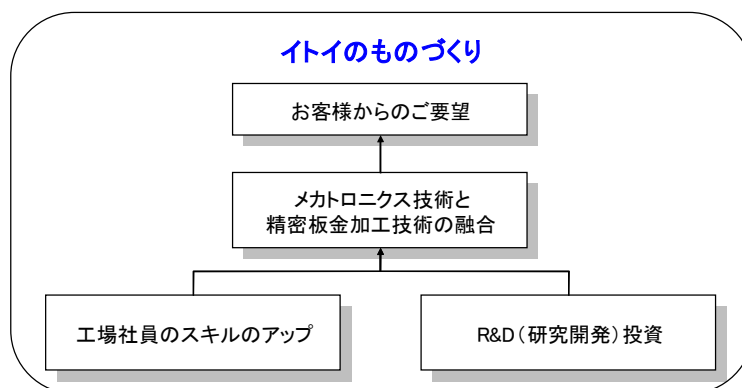
当社の今後の事業展開



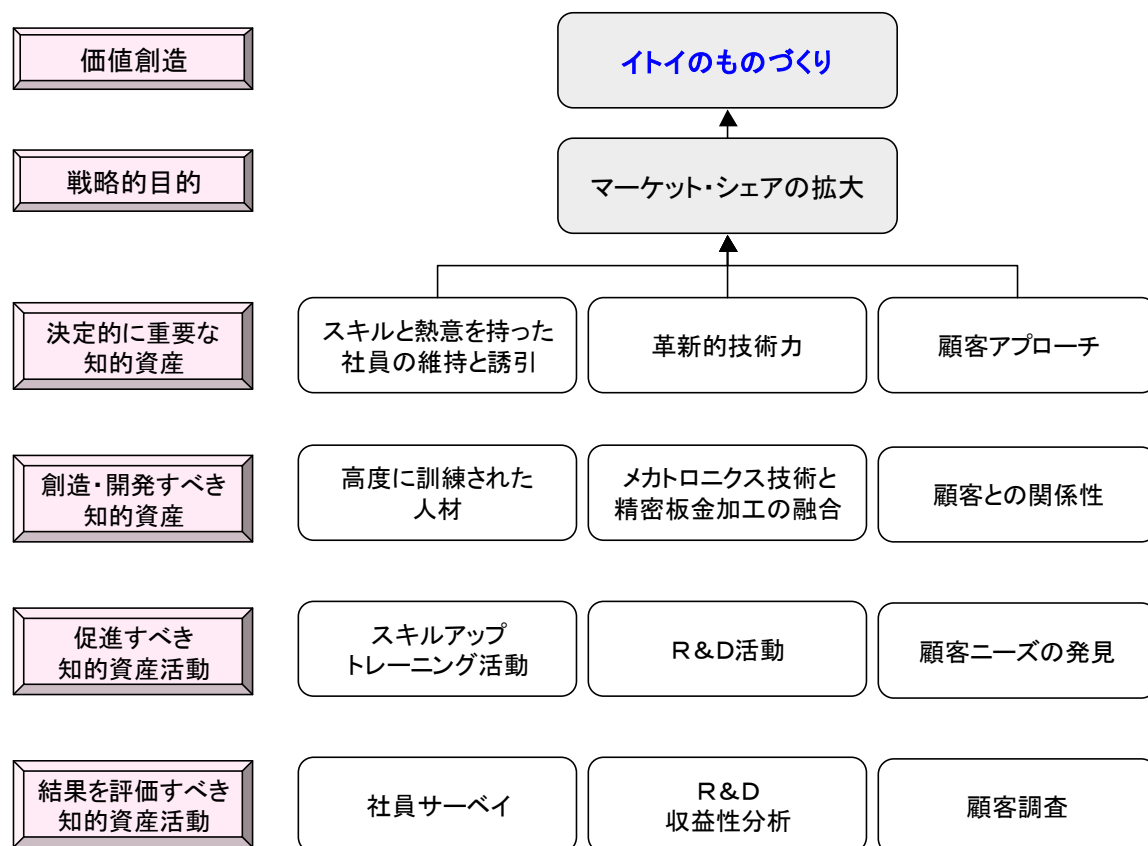
当社は、長年蓄積した精密板金加工技術でキャッシュドロワを製造し、多くのお客様から信頼をいただいております。通常のキャッシュドロワは開く際に大きな電力を必要としますが、USBケーブルからの電源供給だけで動作する製品を開発しました。この時に利用した技術がメカトロニクス技術です。

当社は、自社でこの技術を創設することにより、さまざまな業界でお手伝いができると考えています。現在は、①金融機関向けに機密書類用ダストボックス、②医療向けに人にやさしい切削面のないオールステンレス風呂、③食品業界向けに揚げカス搾り機 ECOLIO（エコリオ）、おかずカップセパレータ「スライド」などを生産しています。

今後は、このメカトロニクス技術をさらに高度に追求するために、積極的にR&D投資を行うとともに、工場社員のスキルアップに取り組んでまいります。しかしながら、ほんとうに私たちを育てていただけるのは、お客様からのご要望であり、それに応える私たちの熱意（チャレンジ精神）なのだと考えております。それが、「イトイのものづくり」なのです。



■ 知的資産の戦略的マネジメント



当社の企業ビジョンは、「イトイのものづくり」を確立、認知していただくことです。「イトイのものづくり」とは、自社のバリューチェーンの製品企画の段階にお客様を巻き込んで、お客様のご要望に応じていくことです。

製造テクニックはもちろん日々のOJTによって訓練してまいりますが、持てるテクニックを使い分けて、お客様へより良い提案ができるスキルアップに取り組んでまいります。

また、東京本社が保有するメカトロニクス技術について、R&D投資を積極的に行っていくとともに、山形工場の社員に精密板金加工とメカトロニクス技術の融合のしくみをレクチャーすることにより、より熱心な創意・工夫と高い提案力を身につける教育訓練を行います。

長年お付き合いいただいているお客様、地域のお客様ネットワークを深めていくことによって、必ず製品のシェアアップが図れると考えております。

今後も、当社独自の知的資産を計測し、価値を高めていく努力を継続してまいります。

■ 会社概要

商 号	株式会社イトイ
代 表 者	代表取締役社長 糸井 寿裕
資 本 金	1,000 万円（平成 23 年 12 月現在の株主総数 3 名、内糸井寿裕 80%）
事業内容	総合板金業 キャッシュドロワをはじめとする POS 関連製品の設計・製造・輸出・販売 メカトロニクス製品の開発・製造
売 上 高	3 億 5 千万円（平成 23 年 12 月期）
従業員数	37 名（平成 23 年 12 月現在、パートタイマーを含む）
所 在 地	東京本社 東京都墨田区千歳 3 丁目 15 番 17 号 山形工場 山形県上山市新北浦 2 番
電話番号	03-3631-6210（東京本社） 023-673-2340（山形工場）
U R L	HTTP://WWW.ITOI.CO.JP

沿 革

昭和 34 年 4 月	糸井寿裕が、糸井製作所を東京都墨田区千歳に創業 手提金庫の製造およびプレス加工を開始
昭和 36 年 4 月	有限会社糸井製作所を設立
昭和 39 年 4 月	株式会社糸井製作所を設立
昭和 45 年 4 月	板金、プレス、組立工場を埼玉県草加市に開設 キャッシュドロワの製造を開始 キャッシュドロワの生産でトップメーカーに成長
平成 3 年 6 月	株式会社イトイに商号変更
平成 4 年 10 月	山形県上山市新北浦工業団地に板金、プレス、組立等の総合工場を開設
平成 15 年 3 月	草加工場を閉鎖し、山形工場へ機能を集約
平成 19 年 10 月	パンチ・レーザー複合機 AMADA EML-3510NT を導入 高精度で多機能な加工を可能に、短納期にも貢献
平成 20 年 10 月	パソコンの USB ケーブル接続による、AC アダプター不要の USB バスパワー駆動キャッシュドロワを製品化
平成 21 年 8 月	厨房機器、オイルセパレーター （揚げカス搾り機 ECOLIO（エコリオ）OS-05 の OEM 生産開始
平成 21 年 9 月	グループ参加した「基盤技術産業グループ支援事業」に 「揚げカス搾り機エコリオ」が選定
平成 22 年 11 月	OEM 生産のオイルセパレーター ECOLIO（エコリオ）が第 13 回産業交流展 2010（於：東京ビッグサイト）に、株式会社ダーウィン様より出品

主要機械加工設備情報

機械名称	メーカー名	型式	テーブルサイズ (xyz)mm	特徴
レーザー加工機	アマダ	EML-Z3510NT	3050×1620	レーザーパンチ複合加工機 パンチ 30t/レーザー2kw (棚 付きサイクルローダー)
タレパン(タレットパン チプレス)	アマダ	VIPROS345	1000×1270	30t
NC ベンダー	アマダ	FBD-8020LD (DC-9)	2000×0×150	80 t 2 台
NC ベンダー	アマダ	RG-35S (DC-9)	1200	35t 3 台
プレスブレーキ	アマダ	RG-50S (DC-9)	1200	50 t
プレスブレーキ	アマダ	FMB-286NT	600	28t サーボベンダー(NT)
トルクバックプレス	アマダ	TP200 C		200t
トルクバックプレス	アマダ	TP110 C、TP80 C		110t 2 台、80t 2 台
トルクバックプレス	アマダ	TP60 C、TP32		60t 2 台、32t 2 台

機械名称	メーカー名	型式
スポット溶接機	アマダ	(マルチ) 2 台、ID-40-ST
スポット溶接機	向洋技研	MYSPOT 600 mm×800 mm H ガン (テーブル) MYSPOTⅢ 800 mm×1000 mm H V ガン (テーブル)
スポット溶接機	山陽電機	SY-19
スポット溶接機	大同興業	SDR-25
アルゴン溶接機	松下電器	YC-300BP2 (AC,DC)
アルゴン溶接機	日本トドライ ブイット	VRTP200 (DC)
アーク溶接機	アイザワ	YD-160R-2 (半自動)
スタッド溶接機	日本トドライ ブイット	JDI-80E
シャーリング	アイザワ	1200 mm
タッピングマシン (X-Y)	アマダ	CTS-54
バリ取り機	アマダ	MD-500 (t 0.8～ t 2.3)
エンドレス研磨機	下村電友	DRE-034 2 台
タッピングボール盤	吉良	KRT-10
ボール盤	吉良	KID-420、KND-8
ボール盤	キタガワ	KDS-360
カシメ機	ブラザー	BR1-103
カシメ機	吉川	
カシメ機	福井鋲螺	RS-510 4 台
フライス盤	コスモ機械	FK-500
金型研磨機	アマダ	TOGUⅢ
自動プログラミング装置	アマダ	AMACON-AP100
各種検査器		

■ おわりに

知的資産経営報告書について

「知的資産」とは、従来のバランスシートに記載されている資産以外の無形の財産であり、企業における競争力である人材・技術・技能・知的財産（特許・ブランド等）・組織力・経営理念・顧客とのネットワークなど、財務諸表に表れてこない、目に見えにくい経営資源の総称です。

「知的資産経営報告書」とは、目に見えにくい経営資源、すなわち非財務情報を、債権者、株主、顧客、従業員といったステークホルダー（利害関係者）に対し、「知的資産」を活用した企業価値向上に向けた活動（価値創造戦略）として、目に見える形でわかりやすく伝え、企業の将来に関する認識の共有化を図ることを目的に作成する書類です。

注意事項

本知的資産経営報告書に記載しました将来の経営戦略及び事業計画ならびに付帯する事業見込みなどは、全て現在入手可能な情報をもとに、当社の判断にて掲載しています。

そのため、将来にわたり当社の取り巻く経営環境（内部環境及び外部環境）の変化によって、これらの記載内容などを変更すべき必要性が生じることもあり、その際には本報告書の内容が将来実施または実現する内容と異なる可能性もあります。

よって、本報告書に掲載した内容や数値などを、当社が将来にわたって保証するものではないことを、充分にご了承願います。

問合せ先

〒130-0025 東京都墨田区千歳 3-15-17

株式会社イトイ 技術開発部 糸井 成夫

T E L : 03-3631-6210 F A X : 03-3635-2019 E-Mail : webmaster@itoi.co.jp

本報告書の内容の合理性について

本報告書に掲載された内容は、株式会社イトイの過去から現在に至る経営環境（内部環境及び外部環境）に照らし、合理的な内容であることを認めます。

平成 23 年 5 月 31 日

経済産業大臣登録 中小企業診断士

登録番号 405592 中村 良一